

令和8年4月6日

関係 各位

山梨県知的障害者支援協会  
会長 栗原 信

(令和8年度)強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】(第1回、第2回、第3回)、  
【実践研修】(第1回)の受講者募集について (お知らせ)

このたび下記のとおり標記研修会を開催します。

受講を希望される場合は、下記「申し込みフォーム」に必要事項を記入のうえ、下記研修事務局までお申込みください。

## 記

### 1 開催条件

新型コロナウイルス等の感染拡大防止の観点に基づき、

- (1) 山梨県知的障害者支援協会が定める「新型コロナウイルス等感染防止対策」にご協力頂ける方。
- (2) 受講中はマスク(不織布)を着用。研修会場内での飲食は不可とします。(水分補給のみ可)。
- (3) 新型コロナウイルス等の感染拡大状況によっては日程の変更(延期)もしくはリモート(zoomを使用)となるか、あるいは中止となる場合があります。

### 2 受講対象者

- (1) 障害児(者)支援(もしくは同等)の実務経験が1年以上ある方。  
(※受講対象者について実務経験が1年以上ある方に限定した理由については、別紙1参照)
- (2) 山梨県内に在住又は在勤で、障害福祉サービス・介護・医療・教育に従事している(従事する予定がある)方。
- (3) 事業所として重度障害者支援加算の受給要件を満たす為に、事業所管理者から特段の推薦がある方。  
(令和6年度報酬改定により「重度障害者支援加算」の受給要件が従来のものより変更となっておりますのでご注意ください。)

### 3 その他

- (1) 受講定員に限りがある為、ご希望に添えない場合があります。
- (2) 令和3年度より、研修内容及び研修テキストが大幅に改訂となった為、令和2年度までの同研修会で使用していたテキストとは異なりますのでご注意ください。
- (3) 旧カリキュラム(令和3年度以前)により受講された方及び現行カリキュラムにより修了した方であって復習のために再受講(聴講)を希望する方は、別紙「申し込みフォーム」にて「再受講(聴講)」を受付けます。ただし会場の収容規模の関係上、「再受講(聴講)」の定員は7名までとします。(先着順受付)  
なお「再受講(聴講)」の方には「修了証」は発行されません。
- (4) 参考までに、今年度の研修開催日程を添付します。(別紙2)

#### 4 日 時

##### 【基礎研修】

第1回 令和8年 5月20日(水)・21日(木) (2日間)

第2回 令和8年 6月9日(火)・10日(水) (2日間)

第3回 令和8年 7月29日(水)・30日(木) (2日間)

##### 【実践研修】

第1回 令和8年 6月17日(水)・18日(木) (2日間)

※「実践研修」の受講は、「基礎研修」修了者を対象としています。

※(時間) 9:15～17:30 (各回共通)

※ 研修プログラム(各回共通)(別紙)

5 場 所 山梨県立青少年センター(別館2階) 多目的ホール (甲府市川田町517)

6 受講定員 各回30名 (「再受講(聴講)」定員 各回7名)

#### 7 申込受付期間

【第1回・基礎研修、(聴講・再受講)】をご希望の方

令和8年4月6日(月)～令和8年5月1日(金)

【第2回、第3回・基礎研修】および【第1回・実践研修】(聴講、再受講)をご希望の方

令和8年4月6日(月)～令和8年5月15日(金)

※ ただし受講希望者が定員を大幅に超える場合は、申込期間内であっても受付を締切ることがあります。

#### 8 受講申込書

下記「受講申し込みフォーム」にてお申込みください。

※ 受講定員に限りがある為、受講希望者が定員を超えた場合はご希望に添えない場合があります。

<https://forms.gle/RKAzyr9ctbYvbShd6>



9 受講料 基礎研修 10,000 円、 実践研修 10,000 円 テキスト 3,200 円 (税込)

※ 再受講 (聴講) の受講料は免除。

ただしテキストを希望する方は 3,200 円 (税込)。

(「行動障害のある人の「暮らし」を支える」(2020 年 11 月 20 日発行版) (全国地域生活支援ネットワーク編) を (基礎研修・実践研修) 共通テキストとして使用します。

※ 令和 3 年度より、研修カリキュラム及び研修テキストが大幅に改定された為、新カリキュラム及び新テキストで研修を実施します。(令和 2 年度まで使用していたテキストとは異なりますのでご注意ください。)

※ 受講料及びテキスト代のお支払い方法は、「受講決定通知書」にてご案内いたします。

## 10 受講者の決定

【第 1 回・基礎研修、(聴講・再受講)】をご希望の方

令和 8 年 5 月 2 日 (土) までに、お申込みのメールアドレスあてに電子メールにて通知します。

【第 2 回、第 3 回・基礎研修】および【第 I 回・実践研修】(聴講、再受講)をご希望の方

令和 8 年 5 月 16 日 (土) までに、お申込みのメールアドレスあてに電子メールにて通知します。

※ 受講者の決定にあたっては、経験年数、推薦理由等を勘案のうえ受講者を決定します。

※ 再受講 (聴講) については、先着順とします。

11 令和 8 年度 (第 4 回、第 5 回・基礎研修)、(第 2 回、第 3 回・実践研修) の受講者募集につきましては、令和 8 年 10 月上旬を目途に受講の受付を開始します。

## 12 お問い合わせ

山梨県強度行動障害支援者養成研修事業 指定事業者

山梨県知的障害者支援協会

研修事務局 (担当 佐野)

☎ 0553-34-9200 (平日 9 時 30 分～17 時 30 分)

(E メール) [sirakaba@ai.wakwak.com](mailto:sirakaba@ai.wakwak.com)

〒405-0005 山梨市小原東 1309-1

サポートセンターハロハロ一番館 内

(別紙 1)

**【受講対象者】**

1 障害児(者)支援の実務経験が1年以上ある方。

(理由) 研修カリキュラム(講義および演習(グループワーク))について、実務経験が1年以上の方を想定した内容となっているため。

2 山梨県内に在住・在勤で、障害福祉サービス・介護・医療に従事している(従事する予定がある)方。

3 重度障害者支援加算の受給要件を満たす為、特に事業所管理者から推薦がある方。

(令和6年度報酬改定により「重度障害者支援加算」の受給要件が従来のものより変更となっておりますのでご注意ください。)

(参考) 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要(案)厚生労働省 より抜粋

「強度行動障害を有する障害者への支援体制について」(改定)

(例)(生活介護・施設入所支援)の場合

・重度障害者支援加算(Ⅱ) 生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置し、区分6かつ行動関連項目10点以上の者に対して、実践研修修了者が作成した支援計画シート等に基づき個別支援を行った場合 (360単位/日)

・重度障害者支援加算(Ⅲ) 生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置し、区分4以上かつ行動関連項目10点以上の者に対して、実践研修修了者が作成した支援計画シート等に基づき個別支援を行った場合 (180単位/日)

4 山梨県知的障害者支援協会が定める、新型コロナウイルス等感染防止対策にご協力いただける方。

※ 受講希望者が定員を大幅に超える場合は、受付期間内であっても受付を締切る場合があります。

※ 上記【受講対象者】3 重度障害者支援加算の受給要件を満たす為、事業所において「生活支援員のうち20%以上の基礎研修修了者を配置」するために実務経験が1年未満の生活支援員を配置せざるを得ない場合(生活介護・施設入所支援の例)は、受講申込みフォーム「受講推薦書」にてその旨の事情を明記してください。

その場合は、実務経験が1年未満であっても受講対象として認められる場合があります。

(別紙2)

## 強度行動障害支援者養成研修（R8年度）開催日程

### 【基礎研修】

第1回 令和8年 5月20日（水）・21日（木）

第2回 令和8年 6月9日（火）・10日（水）

第3回 令和8年 7月29日（水）・30日（木）

第4回 令和8年11月5日（木）・6日（金）

第5回 令和9年 2月25日（木）・26日（金）

※研修内容（プログラム）は、各回とも同一の内容です。

### 【実践研修】

第1回 令和8年 6月17日（水）・18日（木）

第2回 令和8年 11月10日（火）・11日（水）

第3回 令和9年 3月3日（水）・10日（水）

※研修内容（プログラム）は、各回とも同一の内容です。

（受講対象・基礎研修を修了した方）

### 【フォローアップ研修】（受講対象・実践研修を修了した方）

日程調整中

※ 受講定員 各回 30名

※ 再受講（聴講）定員 各回 7名

# 強度行動障害支援者養成研修 [基礎研修]

## 研修カリキュラム

プログラムNo	時間	科目		ストーリー	講師/所属	資料	
1日目 9:15~17:30				STEP			
受付	9:15	検温・消毒 検温表の回収					
開会	9:30	山梨県知的障害者支援協会会長挨拶 事務局からの連絡事項 司会からの諸注意					
プログラム0	9:40	(10)		研修のねらい	0	強度行動障害支援者養成研修のねらい 教科書：P2~11	
	9:50	30	講義1	強度行動障害の理解 ・支援の基本的考え方 ・強度行動障害の状態 ・行動障害が起きる理由	1	基礎 プログラム1 講義1「強度行動障害の理解」 教科書：P14~31	
休憩	10:20	(10)					
	10:30	60	講義2	強度行動障害の理解 ・障害特性の理解	2	基礎 プログラム2 講義2「強度行動障害の理解」 教科書：P40~55	
昼休憩	11:30	(60)					
	12:30	130	演習1	強度行動障害の理解		基礎 プログラム3 演習1「強度行動障害の理解」 ワークシート⑩：グループ用	
休憩	13:30			・困っていることの体験			
休憩	13:40			(10)			
	14:40						
	14:50	90	講義3	支援のアイデア ・障害特性に基づいた支援	3	基礎 プログラム4 講義3「支援のアイデア」 教科書：P62~81	
休憩	16:20	(10)					
	16:30	60	講義4	研修の意義 ・行動障害と虐待防止	5	基礎 プログラム5 講義4「研修の意義」 教科書：P184~208	
2日目 9:00~17:40				STEP			
受付	9:00	検温・消毒 検温表の回収					
プログラム0	9:15	(15)		初日の振り返り	0	初日の資料利用	
	9:30	60	演習2	基本的な情報収集 ・行動を見る視点	3	基礎 プログラム6 演習2「基本的な情報収集」 差込資料① ワークシート①	
休憩	10:30	(10)					
	10:40	90	演習3	特性の分析 ・特性の把握と適切な対応		基礎 プログラム7 演習3「特性の分析」 差込資料②~⑤ ワークシート②~⑦	
昼休憩	12:10	(60)					
	13:10	60	講義5	チームプレイの基本 ・チームプレイの必要性	4	基礎 プログラム8 講義5「チームプレイの基本」 教科書：P158~174	
休憩	14:10	(10)					
	14:20	70	演習4	チームプレイの基本 ・支援手順書に基づく支援の体験		基礎 プログラム9 演習4「チームプレイの基本-指導者研修用」 差込資料⑥ ワークシート⑧	
休憩	15:30	(10)					
	15:40	60	講義6	実践報告 ・児童期及び成人期における支援の実際	5	※配布資料なし	
休憩	16:40	(10)					
	16:50	40	講義7	研修の意義 ・家族の気持ち		※配布資料なし	
閉会	17:30	(10)		到達度チェック 修了証授与		到達度チェック表 修了証	

# 強度行動障害支援者養成研修「実践研修」

## 研修カリキュラム

プログラムNo	時間	科目		ストーリー	講師/所属	資料
1日目 9:15~17:30				STEP		
受付	9:15	検温・消毒 検温表の回収				
開会	9:30	事務局からの連絡事項 司会からの諸注意				
プログラム0	9:40	(10)		研修のねらい	0	強度行動障害支援者養成研修のねらい 教科書：P2~11
プログラム1	9:50	120	講義1	支援を組み立てるための基本 ・強度行動障害の支援に必要な知識	1	実践 プログラム1 講義1 「支援を組み立てるための基本」
昼休憩	11:50	(60)				
プログラム2	12:50	60	演習1	アセスメントの方法 ・具体的なアセスメントの方法	2	実践 プログラム2 演習1 「アセスメントの方法」 実践 プログラム3 演習2 「アセスメントの方法」 ワークシート①~⑦ 差込資料①~⑦ 教科書：P326~329
休憩	13:50	(10)				
プログラム3	14:00	120	演習2	アセスメントの方法 ・障害特性に基づくアセスメント		
休憩	16:00	(10)				
プログラム4	16:10	80	演習3	手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成(1)	3	実践 プログラム4・5 演習3・4 「手順書の作成」 実践 プログラム4 演習3 「手順書の作成」 差込資料⑧ ワークシート⑧⑨ 教科書：P330 ~331
2日目 9:00~17:30				STEP		
受付	9:00	検温・消毒 検温表の回収				
プログラム5	9:20	120	演習4	手順書の作成 ・アセスメントに基づく支援手順書の作成(2)	3	実践 プログラム5 演習4 「手順書の作成」 差込資料⑧ ワークシート⑧⑨ 教科書：P330~331
休憩	11:20	(10)				
プログラム6	11:30	90	演習5	記録の分析と支援手順書の修正 ・記録の方法 ・記録の分析と支援手順書の修正	4	実践 プログラム6 演習5 「記録の分析と支援手順書の修正」 ワークシート⑩⑪ 教科書：P332~333
昼休憩	13:00	(60)				
プログラム7	14:00	60	演習6	関係機関との連携 ・関係機関（医療機関等）との連携の方法	5	実践 演習6 「関係機関との連携」 教科書：242~263
休憩	15:00	(10)				
プログラム8	15:10	60	講義2	組織的なアプローチ ・組織的なアプローチの重要性		実践 プログラム7 講義2 「組織的なアプローチ」 教科書：P216~233
休憩	16:10	(10)				
プログラム9	16:20	60	講義3	実践報告 ・チームによる支援の実際		※配布資料なし
開会	17:20	(10)	到達度チェック 修了証授与			到達度チェック表 修了証